

玉名 市議会だより



題字:後藤 榛花さん(玉名中学校2年)

- 新年度一般会計当初予算259億3,500万円
- 子ども医療費助成拡大(小学校6年生まで)
- 副市長・教育委員会委員 決定

2010
4/15
NO.18



■新玉名駅と菜の花畠

3月定例議会

市長招集挨拶

高寄市長は、議会開会の挨拶で「誠実な政治、市民本意の政治を大きな柱として、市政運営に全力で取り組んでいく。旧1市3町の垣根のない未来を築いていきたい。」と所信を表明した。

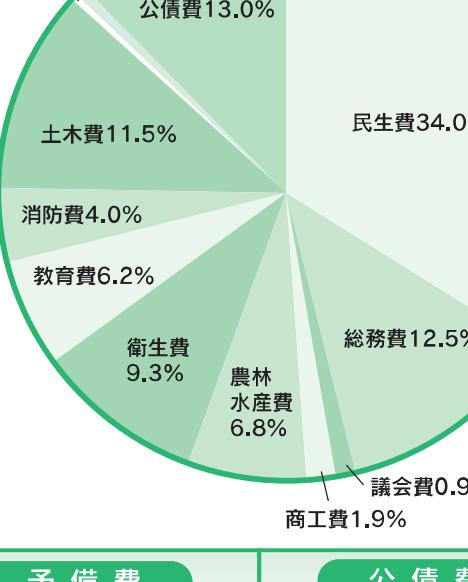
新年度予算原案どおり可決

い。」と所信を表明した。

12月議会では否決されたこの人事案件が、議会最終日に追加議案として市長より再び提案された。当日、欠席1名さらに副市長選任の記名投票では退席1名の状態で投票。副市長については賛成13票、反対10票、教育委員は賛成12票、反対12票で同数であつたため議長採決でとともに可決された。その結果、2名ともに同意した。

市議会だより

決まる 平成22年度一般会計予算総額 **259億3,500万円**

民生費 88億2,495万8千円 ●保育所費、子ども手当 ●後期高齢者医療、介護保険等	総務費 32億3,146万7千円 ●総務管理費、徴税費 ●戸籍住民基本台帳費等	 <table border="1"><caption>Budget Allocation by Category</caption><thead><tr><th>Category</th><th>Amount (Yen)</th></tr></thead><tbody><tr><td>民生費 (Social Welfare)</td><td>88億2,495万8千円</td></tr><tr><td>総務費 (General Affairs)</td><td>32億3,146万7千円</td></tr><tr><td>議会費 (Parliamentary Expenses)</td><td>2億5,119万2千円</td></tr><tr><td>農林水産費 (Agriculture, Forestry, and Fisheries)</td><td>17億5,665万3千円</td></tr><tr><td>教育費 (Education)</td><td>15億9,566万4千円</td></tr><tr><td>土木費 (Civil Engineering)</td><td>29億7,658万円</td></tr><tr><td>災害復旧費 (Disaster Recovery)</td><td>200万2千円</td></tr><tr><td>予備費 (Contingency Fund)</td><td>3,000万円</td></tr><tr><td>公債費 (Debt Service)</td><td>33億973万1千円</td></tr><tr><td>商工費 (Commerce and Industry)</td><td>4億9,199万6千円</td></tr><tr><td>衛生費 (Healthcare)</td><td>24億3,611万2千円</td></tr><tr><td>消防費 (Firefighting)</td><td>10億2,864万4千円</td></tr></tbody></table>	Category	Amount (Yen)	民生費 (Social Welfare)	88億2,495万8千円	総務費 (General Affairs)	32億3,146万7千円	議会費 (Parliamentary Expenses)	2億5,119万2千円	農林水産費 (Agriculture, Forestry, and Fisheries)	17億5,665万3千円	教育費 (Education)	15億9,566万4千円	土木費 (Civil Engineering)	29億7,658万円	災害復旧費 (Disaster Recovery)	200万2千円	予備費 (Contingency Fund)	3,000万円	公債費 (Debt Service)	33億973万1千円	商工費 (Commerce and Industry)	4億9,199万6千円	衛生費 (Healthcare)	24億3,611万2千円	消防費 (Firefighting)	10億2,864万4千円
Category	Amount (Yen)																											
民生費 (Social Welfare)	88億2,495万8千円																											
総務費 (General Affairs)	32億3,146万7千円																											
議会費 (Parliamentary Expenses)	2億5,119万2千円																											
農林水産費 (Agriculture, Forestry, and Fisheries)	17億5,665万3千円																											
教育費 (Education)	15億9,566万4千円																											
土木費 (Civil Engineering)	29億7,658万円																											
災害復旧費 (Disaster Recovery)	200万2千円																											
予備費 (Contingency Fund)	3,000万円																											
公債費 (Debt Service)	33億973万1千円																											
商工費 (Commerce and Industry)	4億9,199万6千円																											
衛生費 (Healthcare)	24億3,611万2千円																											
消防費 (Firefighting)	10億2,864万4千円																											
議会費 2億5,119万2千円 ●議会運営費 ●議会だより等	商工費 4億9,199万6千円 ●企業誘致推進費 ●中小企業振興預託金他																											
農林水産費 17億5,665万3千円 ●経営基盤強化促進対策費 ●渴水対策受託事業費等	衛生費 24億3,611万2千円 ●塵芥処理費 ●し尿処理費等																											
教育費 15億9,566万4千円 ●給食費、小中学校管理費 ●社会教育総務費等	消防費 10億2,864万4千円 ●有明広域行政事務組合負担金 ●消防団員報酬																											
土木費 29億7,658万円 ●道路新設改良費 ●下水道事業会計補助金他	災害復旧費 200万2千円	予備費 3,000万円																										
		公債費 33億973万1千円 ●借入金の返済																										

請願·陳情審議結果

	件 名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請第1号	永住外国人地方参政権付与法案に反対する意見書の提出を求める請願	総務委員会	採択(全員一致)	採択(賛成多数)
請第2号	改正国籍法に関する意見書の提出を求める請願	総務委員会	採択(全員一致)	採択(全会一致)
請第3号	選択的夫婦別姓制度法制化に反対する意見書の提出を求める請願	総務委員会	採択(全員一致)	採択(賛成多数)
請第4号	人権擁護法案の成立に反対する意見書の提出を求める請願	文教厚生委員会	不採択(全員一致)	不採択(賛成少数)
陳第1号	道路拡幅整備と市道認定に関する陳情	建設委員会	継続(全員一致)	継続(全会一致)
陳第2号	保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書の提出に関する陳情	文教厚生委員会	採択(全員一致)	採択(全会一致)
陳第3号	費用弁償の廃止を求める陳情	総務委員会	不採択(全員一致)	不採択(賛成少数)
平成21年 陳第5号	暮らし支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出に関する陳情	総務委員会	継続(全員一致)	継続(全会一致)
平成21年 陳第6号	消費税増税に反対し、住民税をもとに戻し、社会保障の充実を求める意見書の提出に関する陳情	総務委員会	継続(全員一致)	継続(全会一致)

※次の意見書(案)を可決し、関係機関に送付しました。

- ・永住外国人地方参政権付与法案に反対する意見書の提出について
 - ・改正国籍法に関する意見書の提出について

- ・選択的夫婦別姓制度法制化に反対する意見書の提出について
 - ・保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書の提出について

一般質問

ここが聞きたい



質問に立つた議員名(会派名)
は次のとおりです。
(質問順に記載)

近松 恵美子
(蒼風会)
永野 忠弘
(無会派)
青木 ひさし
(無会派・公明)

内田 靖信
(自友クラブ)

北本 節代
(市民クラブ)

作本 幸男
(新生クラブ)

福田 友明
(市民クラブ)

福田 知美
(蒼風会)

宮嶋 謙治
(自友クラブ)

吉田 四郎
(新生クラブ)

高村 正治
(無会派・共産)

田畑 ひさよし
(有明クラブ)

前田 隆浩
(新生クラブ)

江田 計司
(蒼風会)

観光客誘致 市民が自慢
できる名所づくりを



近松 恵美子

新庁舎建設を問う

新幹線建設を問う

財の見直しが終了し次第、その内容に沿った形で、展示スペースの改修も含め検討を行なつていきたい。

地方バス路線の
見直しを!



永野 忠弘

議員 新幹線開業を来年春に控え、周辺整備玉名平野全体を中心とする。建設の進捗状況とそ

れによる被害、特に過疎化の心配もある渴水被害に対する今後の取り組みは。

議員 4年間の努力で玉名の認知度が上がってきた。さらに宿泊客をふやすためには、市民みずからが、市外の知人を玉名に案内したいと思える名所づくりの整備が必要では。

産業経済部長 玉名地域は温泉を初め、自然・農産物・史跡があるなど多くの歴史・文化が存在する。この観光素材を磨き上げ、既存の観光資源とともにPRしていく。

議員 多様な市民の要望に耳を傾け効率的運営を図るため、検討委員会を設置してはどうか。地元医師、商店主、一般市民等含めた意見交換の場を設けてはどうか。

市長 全国的に少子高齢化が進み、本市も合併後の4年間で約2千人も減少している。次代を担う世代に負担を強いよううな事業は慎重に計画すべきというのが私の持論。新庁舎の

総事業費60億円は、他市の事例も踏まえ、適正な規模かどうかを再検討する必要がある。事業費については、最低20億、できれば30億円の削減を目指したい。

議員 「教育立市で魅力あるまちづくり」を推進し定住化につなげることを提言するがどう取り組んでもらえるか。

教育次長 旧3町分の展示の見直しについては、博物館でも展示物がない。内部を改装し、新玉名市にふさわしい博物館にできないか。

企画政策部長 さまざまな団体等の声を聞く機会や地域協議会等での意見を踏まえ、幅広い検討を行なつていく。

議員 第一に取り組むべき課題の1つ見直しについて、は、博物館でも議会等での意見を踏まえ、幅広く検討を行なつて認識をしており、文化財として認識をしており、文化財

保護審議会における指定文化財直前の昇格について質問。

議員 その他、子育て応援予算、退職金の昇格について質問。

教育次長 現在「教育立市」宣言とも言える玉名市教育振興基本計画の策定作業を進めてい

る。これは、教育基本法が60年

ぶりに改正されたのを受けたもので、この計画のもとに教育向

上を図り、地域発展の推進力と

する。

議員 すなわち、総事業費40億円以内が、今後クリアすべき数値として検討されるものと考える。

教育次長 が、今後クリアすべき数値として検討されるものと考える。

議員 前回までの会議録は市民図書館及び玉名市ホームページ市議会サイトで閲覧できます。

ここに記載した質問と答弁は要約したものです。

前回までの会議録は市民図書館及び玉名市ホームページ市議会

サイトで閲覧できます。

急げ！女性のがん予防！



青木 ひさし

な対策は？

企画政策部長 地デジ放送の難視地域は、現時点で9地区、地域住民による共聴組合にて、難視解消のため共同受信施設を設置するに当たり、国が3分の2、NHKの助成、市の補助金により支援し、負担がないよう計画している。ただし、維持管理費については、共聴組合の方で負担いただく。

議員 無料のがん検診クーポン券の事業は、2月で終了したが、その受診率の変化と継続してこの事業を！

市民環境部長 平成20年度子宮頸がん検診の受診率は、2.2%に対し、平成21年度受診率が20.8%の18.6%増、乳がん検診は平成20年度受診率6.3%に対し、平成21年度32.3%の26%増となっている。

平成22年度国の補助率は100%から50%になり、残りを市で助成し、対象者の方は無料で受診できるようにする予定です。現制度が継続されるよう要望していく。

議員 受信障害地域への具体的な対策は？

地上デジタル放送の受信障害対策は？

予算において庁舎建設費88万8千円が予算化され新庁舎建設検討委員報酬として34万8千円が計上されている。この予算化された検討委員会の構成員と人選の方法、委員会開催の回数、委員会の公開・非公開は。また、建設費30億円の削減は諮問するのか。答申はいつごろをめどとして求め、答申され

た新庁舎予定地について市民の総意を形成するための方策は。

議員 検討委員の選任についても、慎重に方向性を見出したい。

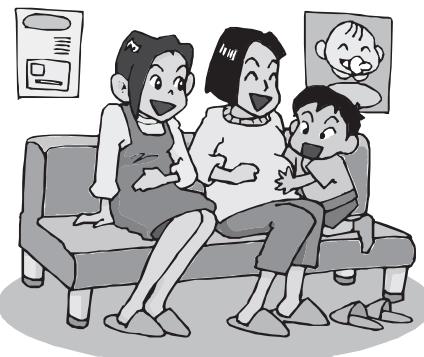
議員 相次ぐ児童虐待、大切な命を守る方策は？

福祉部長 玉名市においては平成20年度「玉名市要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会」を設置し、特に緊急を要する児童虐待に対しては、児童相談所及び警察とも連携しながら対応し、被虐待者への援助及び支援を行なっている。

※その他、公明党の議員による介護総点検から市の介護のあり方などの質問をした。

議員 市長は12月定例会の一般質問の答弁において、市長選挙時に主張されていた工事費30億円の削減についての根拠も示されず、新庁舎建設計画については「有識者による検討委員会やパブリックコメントの実

児童虐待から子どもたちの命を守れ！



新庁舎建設事業の見直しについて



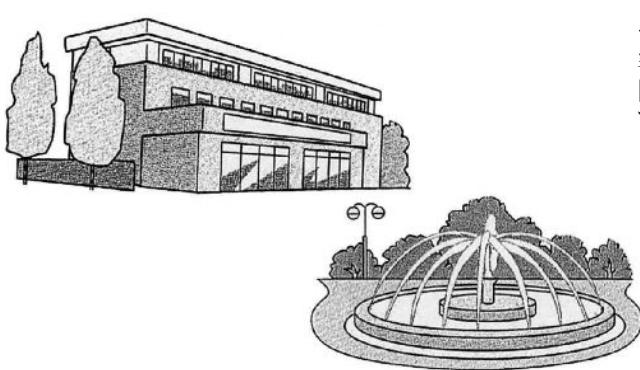
内田 靖信

市長 委員は10人程度の予定で調整中。年齢層や男女の構成についても配慮する。開催回数は6回の予定。公開の件は委員会の意向も尊重して慎重に判断したい。委員会には建設位置や費用等について、経緯を踏まえ

検討いただく。元の計画から少なくとも20億円を削減すべき。委員会の検討結果は、翌年度予算に反映できる時期までにいただき、その結果を受け、地域協

市長 幅広い意見が得られるよう地域性にも配慮して選任する。委員会の検討結果は、尊重して判断する。

議員 検討委員の選任についても、慎重に方向性を見出したい。



多重労働の メンタル面の改善を急げ



北本 節代

議員 小中学校職員の多重労働の改善、労働時間の管理はできているのか？労働課衛生管理規規定の策定はいつできるのか？

特別支援教室は十分か？

議員 22年度の特別教育支援員は、要望どおり十分なのか？

質問一般
教育次長 職員50名以上の学校では産業医による面接相談体制を整備し、50名以下の学校では、面接指導を行なうための規定（案）を作成したところである。

教育次長 各学校の実態に応じて、特別支援教育支援員の配置を平成22年度は6名追加し、22名分の予算を計上している。今後も特別支援教育の充実に取り組んでいく。

総務部長 市役所の職務はデスクワークがほとんどであるため、職場環境における職員の健康障害が極めて少ないとから、産業医による職場巡視はできていない。

初の学童クラブの建設を問う

議員 学童クラブが玉名市で初

議員 消費者センター設置を急げ！！
産業経済部長 平成22年4月



作本 幸男

新庁舎建設について



▲学童保育「親子農業体験の風景」

れているとすれば、市長は30億円削減の根拠を、市民や議会に当然説明をする義務、責任があると思うが、市長の真意を伺いたい。

市長 次代を担う市民に負担を強いるような事業は慎重に計画すべき。事業費は最低20億円、できれば30億円の削減と言っている。他市の事例も踏まえた適切な規模と考える。

建設位置は、現庁舎位置ありきではなく、市民会館付近との二択一でもない。これらを含めて白紙の状態で再検討する。市民負担を最小限におさめ、平成27年度までに建設する。予想以上に人口減少が進む中、さまざまな施策を推進して市の体力をつけたい。

建設位置は、現庁舎位置ありきではなく、市民会館付近との二択一でもない。これらを含めて白紙の状態で再検討する。市

民負担を最小限におさめ、平成27年度までに建設する。予想以上に人口減少が進む中、さまざまな施策を推進して市の体力をつけたい。

建設位置は、現庁舎位置ありきではなく、市民会館付近との二択一でもない。これらを含めて白紙の状態で再検討する。市

議員 去る1月15日の職員人事異動により、課長級から部長級に昇格された職員の中に3月をもって退職を迎える職員がいる。在職期間2カ月半余りで退職となるが、退職手当の差額は幾らか。このことは、市民の素朴な疑問である。市長はどうぞお答えか。



市長 1月15日付の人事異動で、課長級から部長級に昇格した職員で、3月末に定年退職する者の退職金は、昇格前と比べると123万4千412円増額するが、

副市長、教育委員不在の事態打開に人身一掃



前田 正治

について改善を。

総務部長

4カ所の地域協議会で機構改革の説明を行ない、今回は時間的な制約上、報告という形になつたが、今後は必要に応じ諮問すること、また、今回ちようだいした意見は、23年度以降の機構改革を考える中で、可能な限りくみ取つていくことを答弁し、協力をお願いした。

講じるべきか。

市長

整備基本計画をもとにしながらも社会情勢や経済動向を見極め、喫緊の課題である3.2定する。開発についてはルールづくりが必要と考える。大型店との共存は商工団体等と意見交換を行ない対応したい。

市長

h-aは22年度早期に方針を決定する。職員削減による人件費ながらも社会情勢や経済動向に目指し、具体的にどう取り組みを行なっていくのか。



議員 12月議会における、副市長、教育委員の人事案否決を市長はどのように受けとめているか。重要幹部不在の異常事態を開するには、人身一掃が必要と思うが、市長の考えは。

増税前に基金を取り崩せ

市長 副市長、教育委員を含め、人事に関しては先の選挙の一際に示したマニフェストの実現のため、全職員が一つのチームとして、市政に取り組んでいくことが最も大切であると考えている。

このような視点で、議員各位並びに市民に理解が得られるような人事に努めてまいりたい。

議員 機構改革に関する、地域協議会の開催は、条例に照らせば問題がある。今後の市政運営

議員 国保税の増税が提案されている。基金を活用して増税を回避すべきでは。

あと1年! 新駅周辺整備をどう進める?



藏原 隆浩

議員 定住(スマイル構想)を本格化させるためには、民間活動やノウハウを取り入れる必要がある。そのためにも「定住化推進協議会」というような官民一体となつた組織を早期に設置すべきではないか。

企画政策部長 現時点で「連絡協議会」の設置は考えていないが、地域はもとより、さまざまな分野の民間事業者や団体との情報交換を行なう場を設けるなど、積極的に関係の強化を図つてまいりたい。

財政状況を改善? その長期的な展望は

議員 先の選挙戦で経常収支がるよう努めてまいりたい。

療費が増加し、今後も基金を活用しながら、医療費抑制につながるよう努めてまいりたい。

議員 新玉名駅周辺エリアの秩序ある開発整備のためにも、整備の方針と時期については一刻も早い決断が求められてい

る。また大型店の進出にはどう対応し、地元商業者が共存して比率の改善を掲げられたが、今

熊本県北さ当地!



▲新幹線新玉名駅!!開業1年前イベント グルメグランプリ

大野下、扇崎地区の 圃場整備事業の経過は



江田 計司

組織機構改革について

議員 岱明総合支所においても建設経済課が廃止されその業務を本庁一括で行なうこと

なるが、建設経済課の職員は極めて専門性が高い。また、地域と密接に関係した業務を遂行

議員 大野下地区の冠水対策の要因の一つに大野下・扇崎地区圃場整備事業との関連を指摘されたが、その後の事業推進概要と推進経過と今後の事業推進計画はどうなるのか。

岱明総合支所長 昨年8月に計画概要の地元説明会を開催し

た。その中で湛水被害の早期解消を求める要望が多く出され、大野校区4区長連名の陳情書も提出された。防災上の公益性が極めて高い幹線排水路整備事業について、農家負担は用地の無償提供にとどめ、地元の意向に沿う形で農家負担金は求めない。同意率は現在95%に達しており、新年度は事業計画概要書策定を実施し平成23年度事業採択申請に向けて、課題解消のために事業推進を図りたい。

総務部長 職員数の大削減により、従来の組織機構では行政運営に支障を来す恐れがあるため、4月1日に市の機構改革を行なう。その中で、各総合支所の建設経済課を廃止して、そ

の経過や地域独自の事情もあるはず。他の支所でも考えられるのは、特に本庁一括となるば事務的になりがちにならなければ、合併しなければよかつたと苦情が聞こえてこないよう

な人事を。

議会を傍聴しませんか!

市議会はだれでも傍聴できます。

庁舎西側(正面玄関前駐車場の右手)から直接傍聴席(3階)に入ることができますので、お気軽にいでください。傍聴席は60名分設けてあります。また、1階ロビーにもインターネットの中継テレビを設置しています。

市議定例会で本会議を傍聴できるのは、開会(提案理由の説明)、一般質問、閉会(採決)です。

なお、日程につきましては、6月定例議会予定(P12)をご覧ください。

市議会事務局 ☎75-1155



▲ 冠水した大野下地区

方向性見えぬ 新庁舎建設

新庁舎建設特別委員会

2月24日に委員会を開催し、

執行部より再確認ということで、政権交代までの経緯について報告を受ける。その後各委員から、

まだ具体的な案を示さない市長の態度に、いら立ちや不満、ま

た、現状況で合併特例債期限までに新庁舎を完成できるのか等々の厳しい意見が出る。それに

対し執行部から、新庁舎建設討議委員会を3月に立ち上げ、4

月から会議を開き、具体的に内容を検討する予定。また今回の特別委員会の審議内容等については市長に報告をする旨の回答を受けた。



▲ 現在の玉名市役所

九州新幹線全線開業まで いよいよあと一年

新幹線新玉名駅周辺整備・ 玉名バイパス建設促進特別委員会

平成23年の全線開通を目指し

た九州新幹線鹿児島ルートの早

期完成・開業の促進及び新玉名

駅周辺整備の推進を図るととも

に、国道208号線の交通混雑の解消

や交通安全の確保を目的に事業

化され、新玉名駅への主要アクセス道路として位置づけられて

いる玉名バイパスの早期開通の促

進を図るため、12月議会において

本委員会が設置された。

2月23日の委員会で現地視察を行ない、駅前広場の整備は最終段階に、また玉名バイパスも順調

に推移しており、新幹線開業に間に合う予定と報告を受けた。

今後、周辺の開発構想についても審査していく。



▲ 現在の新幹線新玉名駅と玉名バイパス

玉名21の星事業 22年度以降4年間は助成継続

付託された案件は21年度一般会計補正予算を含め予算案件8件、条例5件、その他1件。請願3件、陳情3件、うち継続審査2件。今回の補正は、歳入歳出それぞれ5億4千984万2千円を減額し、総額を286億7千685万4千円とした。主なものは新庁舎建設費千円を減額し、総額を286億7千685万4千円とした。主なものは新庁舎建設費

22年度玉名市一般会計予算では歳入歳出予算の総額を259億3千500万円

とし前年予算に比べ10億7千300万円の減、率にして4%の減になった。委員会を行なつてほしいなどの意見が出され、請願3件については国への意見書の提出を採択。陳情は費用弁償の廃止を求めるもので、議員みずから提案し、早い時期に議長がリーダーシップを取り何らかの結論を出した

とし前年予算に比べ10億7千300万円の減、率にして4%の減になった。委員会を行なつてほしいなどの意見が出され、請願3件については国への意見書の提出を採択。陳情は費用弁償の廃止を求めるもので、議員みずから提案し、早い時期に議長がリーダーシップを取り何らかの結論を出した

付託された案件は予算関係4件、条例1件です。

平成22年度玉名市大泉浴場事業特別会計予算については、歳入歳出予算の総額を9千365万円。観光ほつとプラザ「たまララ」の条例の制定については

平成21年度玉名市一般会計補正予算中、付託分で農林水産業費が事業費等が確定したことにより2億3千759万5千円の減額平成22年玉名市一般会計予算中、農林水産業費は17億5千665万3千円。商工費4億9千19万6千円で新規事業では地上デジタル放送に移行される事に伴い難

九州新幹線全線開業により本市及び熊本県北地域の玄関口となる新玉名駅に隣接して整備を進めている観光ほつとプラザ「たまララ」の設置及び管理について公の施設として新たに条例を制定するものである。以上議案5件については全員一致で可決した。

新幹線全線開業に向け 観光ほつとプラザ「たまらら」設置

新年度から「子ども手当」の支給始まる

付託された案件は議案11件と請願陳情各1件。21年度補正予算5件は原案可決。22年度一般会計予算では、新設された「子ども手当」の制度内容等について審査。「子ども手当」は、次世代の社会を担う子どもたちの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を対象に、一人につき月額1万3千円を支給。子ども手当の一部として現行の児童手当を支給する仕組みとし、児童

手当分は国・地方・事業主が費用を負担し、それ以外は全額国庫負担。計上予算は12億1千193万5千円で支給対象者は8千630人。給食費等を子ども手当から控除して支給できるかについては、23年度に向けて国において審議中のこと。その他特別会計と条例案件も原案可決。人権擁護法案成立反対請願は不採択。保育所等の環境改善を求める陳情は採択となつた。

新年度にて、新玉名駅前公園整備事業等ほか予算計上

付託された案件は議案15件、陳情1件。21年度補正は一般会計で3千383万8千円の減。新幹線渋水連絡協が会長不在で開催できなかつたことにつき代行できる体制整備を要望。浄化槽特別会計では浄化槽設置後に市条例の規定外となり返還となつた。事例について経緯説明。22年度予算は一般会計で新駅前公園整備ほか29億7千658万円を計上。市営住宅の火災報知機・地デジ改修に対し質疑、花ショウブに關

し民間借地を活用し植えかえの努力をと意見。下水道会計では浄化センターとし尿処理場の改築に関連し、浄化センターの稼働率に比し過剰設備と指摘、下水道料金の値下げをとの意見が出た。下水道会計当初予算以外は市道認定案件を含め全員一致で可決。天水の道路拡幅・市道認定の陳情については現地が急傾斜地のためすぐに決定はできな

いとし、全員一致で継続審査とし



市民の声

新幹線特集



「新幹線開通を迎えて
一市民として思う」



新幹線広域連携推進会議

座長 千蔵 隆 資

九州新幹線活用プロジェクト戦略会議
物産・イベント部会

部会長 田中 準也



「新幹線開通は
目的ではなく手段です」

口的が完了するのではありません。これからが出发点なのです。

幹線が開通します。十数年間の悲願であるわけですが、単純に喜ぶだけではいけないと私は思います。博多や、鹿児島は、経済効果として大きいものがあると思いますが、八代や水俣を見ていると、新玉名駅も、色々な課題を抱えているような気がします。まずは、市民全体で機運を盛り上げる必要性を感じますし、玉名市だけでなく、城北地域の人々との連携が必要と思われます。

観光や、おもてなしも新玉名駅が一番いいと多くの方に思ってもらいためにも、行政、各種団体、一般市民が一体となり、子孫に誇れるまちをつくっていきましょう。

部会長 川原光祐

九州新幹線活用プロジェクト戦略会議
観光・キャンペーン部会

当部会の企画で、本年度より玉名検定を行いました。しかしこの企画は、新幹線開通で

「あと一年！
九州新幹線全線開業に向けて」

「新幹線開通を迎えて
一市民として思う」

「あと一年！
九州新幹線全線開業に向けて」

大限に引き出すため市民と行政が一体となって取り組む合議体です。この合議体は目的別に観光キャンペーングループ会、物産イベント部会、総務広報部会の3つの部会で構成されています。今年3月に行ないました熊本県北ご当地グルメグランプリを初め、今後新幹線を活用する施策について具体的に実践し、観光やイベントに関する受け入れ準備や継続した取り組みを行なつてまいります。開業まであと1年。多くの方々と連携をとりながら、開業に向けた機運の醸成を図りたいと考えています。

九州新幹線活用プロジェクト戦略会議は、来年春の九州新幹線全線開業に伴い、新幹線開業を最

九州新幹線活用プロジェクト戦略会議
物産・イベント部会

部会長 田中 準也

口的が完了するのではありません。これからが出发点なのです。
玉名は未来に向け長く続きます。そして多くの住民が他県や世界に羽ばたきます。その時に玉名の歴史・文化や地域の特産などに理解を深めていれば、自分自身が育った所に対する自信と誇りにつながります。このことが人間としてのアイデンティティーとなるのです。

できれば小中学生の時に試験を受け、幼い時より玉名人としての自覚と誇りを持つていただきたいと思います。

玉名市ホームページ
市議会サイトでも
閲覧できます。

玉名市のホームページ

<http://www.city.tamana.lg.jp>

6月定例議会予定

7月2日	29日	28日	25日	24日	21日	18日	6月8日
金曜	火曜	月曜	金曜	木曜	月曜	金曜	火曜
定例議会閉会	採決	建設委員会	文教厚生委員会	総務委員会	産業経済委員会	議案の委員会付託	一般質問

※都合により変更になることがあります。

議会広報編集委員

副委員長 近松 恵美子



編集後記